

臨時物広告のご案内



臨時物広告とは

「臨時物広告」は企業・個人にかかわらず重要な事件、案件を的確かつスピーディーに伝達する広告の形態です。新聞紙面の「臨時物広告」の掲載は「新聞の信頼性」に裏打ちされた読者・消費者への有効な伝達・広報手段として活用されています。

また、注目度の高い社会面に掲載されることや、掲載日前日の申し込みにも対応可能な点などから、新聞広告の中でも特にニュース性に優れた広告だといえます。

社会的規範や企業の倫理の観点からも、今後ますます重要視されていく広告ツールとなっていくでしょう。

「臨時物広告」の種類には、以下のような広告があります。

お詫び広告…

リコール社告(商品回収、無償交換など)、消費者へのお詫びや告知、イベント会場の変更告知など

ご不幸広告…

災害・大火事などへのお見舞いや死亡・会葬の告知、会葬御礼など

媒体概要

■ 全国紙の本支社別 朝刊販売部数

‘94年5月の1000万部突破以後も読者の支持が高まり続ける読売新聞。日本の家庭の約5世帯に1世帯となる約2600万人*の読者を誇ります。また、他全国紙と比べて、東京・大阪など大都市圏で高い販売部数を得る一方、全国的に見ても支持が高いことがわかります。大切な情報を広く伝える媒体として最適なことが、このデータから読み取れます。

*朝刊販売部数×朝刊回読人数2.6人(2007年J-READ)

10,020,685部

(単位:部)

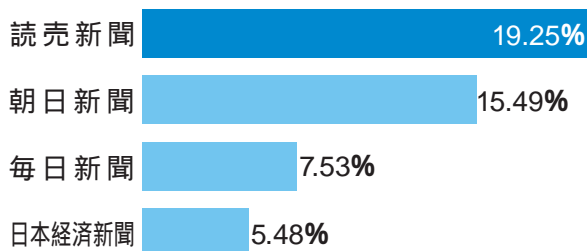
| | 読売 | 朝日 | 毎日 | 日経 |
|-------------------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 全 国 | 10,020,685 | 8,054,469 | 3,911,575 | 3,053,091 |
| 東京本社 ¹ | 6,564,800 | 4,931,389 | 1,852,661 | 2,086,012 |
| 北海道支社 | (232,109) | (154,464) | (69,427) | (56,772) |
| 北陸支社 | (107,305) | | | |
| 中部支社 | (160,278) | 422,120 | 175,420 | 206,401 |
| 大阪本社 | 2,544,789 | 2,329,441 | 1,401,744 | 772,408 |
| 西部本社 ² | 911,096 | 793,639 | 657,170 | 194,671 |

日本ABC協会「新聞発行社レポート 半期」2007年7月～12月平均
¹ 読売新聞の東京本社には北海道、北陸、中部支社の部数を含みます。
 他の全国紙の東京本社には北海道支社、日本経済新聞は札幌支社を含みます。
 他の全国紙の中部支社は、朝日新聞は名古屋本社、毎日新聞は中部本社、日本経済新聞は名古屋支社で、東京本社に含みます。
² 日本経済新聞は西部支社です。

■ 全国紙朝刊の全国世帯普及率

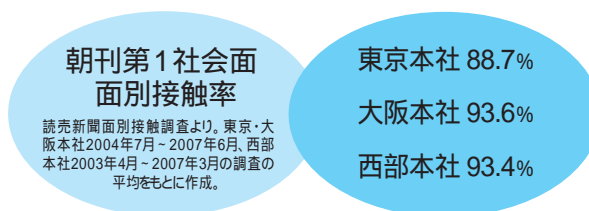
(日本ABC協会「新聞発行社レポート普及率」2007年7月～12月平均)

新聞と他メディアとの違いは「社会的信頼性の高さ」にあります。読売新聞は全国紙の中でトップ、第2位全国紙に3.76ポイントの差をつけるシェアを占めています。つまり、新聞の中でも最も信頼度が高いと読者が評価した新聞、それが読売新聞なのです。

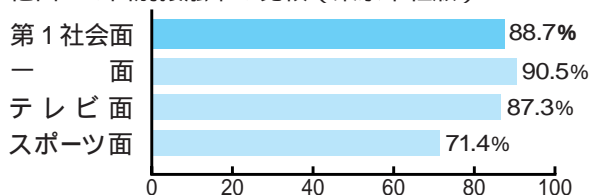


■ 第1社会面 面別接触率

面別接触率とは「読者が面単位で、どの程度接触しているかを示すデータ」のこと。つまり、その面の注目度の高さを表します。各本社別に調査した結果、第1社会面はいずれも高いポイントを獲得。本版申し込みの臨時物広告は、原則として朝刊第1社会面に掲載いたしますので、広告も高い確率での接触が期待できます。



他面との面別接触率の比較 (東京本社版)



広告料金 (平成20年9月1日現在)

【料金表・朝刊】

全国通し・各本社版単独料金

| 基本料金 | 掲載地域 | 東京単独 (北海道・北陸・中部含む) | 大阪単独 | 西部単独 |
|----------|--------------------|-----------------------|---------|---------|
| 1cm × 1段 | 全国通し (東京、大阪、西部) | 126,500円 | 58,300円 | 28,600円 |

臨時物広告の申し込みは、1cm×2段からお請けいたします。

料金は税抜き料金です。
 全国通し・各本社版単独申し込みの臨時物広告は、原則として朝刊第1社会面に掲載いたします。
 地方版申し込みの臨時物広告は、原則として朝刊各県版面に掲載いたします。
 全国通し、東京単独ともに、北海道支社・北陸支社・中部支社の掲載を含みます。
 色刷り臨時物広告の掲載は、別途付加料金(色刷り料金)がかかります。

掲載料の算出方法

例)全国通し、12cm×2段の場合

$$179,300円 \times 12cm \times 2段 = 4,303,200円$$

$$1cm \times 1段 \text{の単価} \times \text{左右のサイズ} \times 2段 = \text{掲載料}$$

全国紙における コストパフォーマンス比較

| | 全国部数 | 1cm×2段 | コスト (パフォーマンス) |
|----|------------|---------|------------------|
| 読売 | 10,020,685 | 358,600 | 35.79 |
| 朝日 | 8,054,469 | 352,000 | 43.70 |
| 毎日 | 3,911,575 | 238,000 | 60.85 |
| 日経 | 3,053,091 | 160,000 | 52.41 |
| 産経 | 2,204,353 | 132,000 | 59.88 |

1cm×2段の1,000部あたりの掲載料金(コスト/パフォーマンス)。
 販売部数は社「日本ABC協会」新聞発行社レポート「半期」
 2007年7月～12月平均

各支社版全域・地方版単位での掲載料金(1cm×1段)

| 東京 | | 中部支社版全域(注3) | | 大阪 | | 西部 | |
|--------------|---------|----------------------|--------|-----------|---------|----------|---------|
| 青森版 | 2,000円 | 11,000円 | | 福井版 | 2,500円 | 島根全県版 | 6,300円 |
| 岩手版 | 2,800円 | 愛知全県版 | 7,000円 | 滋賀版 | 4,800円 | 島根石見版 | 3,100円 |
| 秋田版 | 2,100円 | (市内・名古屋圏版) | 4,800円 | 京都版 | 7,800円 | 山口全県版 | 13,200円 |
| 山形版 | 2,400円 | (三河版) | 2,200円 | 兵庫全県版 | 18,700円 | (周南・岩柳版) | 4,600円 |
| 宮城版 | 2,900円 | 岐阜版 | 2,900円 | (神戸・阪神版) | 13,500円 | (山口版) | 4,600円 |
| 福島版 | 3,100円 | 三重全県版 | 5,000円 | (播磨・但丹版) | 6,200円 | 下関版 | 4,000円 |
| 新潟版 | 4,400円 | (三重版 (名張・上野版は除く)) | 3,800円 | 奈良版 | 4,800円 | 北九州版 | 8,600円 |
| 長野全県版 | 3,800円 | | | 三重全県版 | 5,000円 | 筑豊版 | 4,200円 |
| (北信版) | 2,400円 | | | 名張・上野版 | 1,200円 | 福岡版 | 6,000円 |
| (南信版) | 2,000円 | | | 和歌山版 | 5,000円 | 筑後版 | 5,500円 |
| 山梨版 | 2,300円 | | | 岡山版 | 4,400円 | 大分版 | 4,800円 |
| 静岡版 | 4,200円 | | | 広島全県版 | 8,000円 | 佐賀版 | 4,200円 |
| 茨城版 | 9,300円 | | | (備後版) | 4,000円 | 長崎全県版 | 6,400円 |
| 栃木版 | 6,400円 | | | (広島版) | 4,300円 | (長崎版) | 3,200円 |
| 群馬版 | 7,400円 | | | 鳥取版 | 3,700円 | (佐世保版) | 3,200円 |
| 千葉版 | 15,100円 | | | 島根全県版 | 6,300円 | 熊本版 | 5,000円 |
| 埼玉版 | 17,800円 | | | 島根(大阪)版 | 3,200円 | 宮崎版 | 3,400円 |
| 神奈川版 | 20,000円 | | | 香川版 | 3,800円 | 鹿児島版 | 3,600円 |
| 多摩版 | 7,300円 | | | 愛媛版 | 4,300円 | | |
| 都内ブロック版料金 | | | | 徳島版 | 1,600円 | | |
| 都内版 | 35,700円 | | | 高知版 | 1,600円 | | |
| (都民版) | 23,500円 | | | 大阪府内版 | 34,500円 | | |
| (江東版) | 9,300円 | | | 大阪府内ブロック版 | | | |
| (武蔵野版) | 2,900円 | | | 大阪市内版 | 8,400円 | | |
| 北海道支社版全域(注1) | | | | 北摂版 | 5,300円 | | |
| 10,900円 | | | | 河内版 | 7,200円 | | |
| 北陸支社版全域(注2) | | | | 泉州版 | 5,200円 | | |
| 10,100円 | | | | | | | |

(注1)北海道支社版全域申し込みの場合は、原則として朝刊第1社会面に掲載いたします。
 (注2)北陸支社版全域申し込みの場合は、原則として朝刊各県版に掲載いたします。また、死亡広告の場合は料金設定が異なりますので北陸広告課までお問い合わせ下さい。
 (注3)中部支社版全域申し込みの場合は、原則として朝刊第1社会面に掲載いたします。

インターネット版「臨時物広告」のご案内

読売新聞のニュースサイトであるYOMIURI ONLINEでは、「臨時物」専用のテキスト広告枠を設けています。1,000万部を超える読売新聞本紙と、ニュースサイトでユニークユーザー数No.1*YOMIURI ONLINEのトップページ表示される本広告商品を組み合わせることで、効率よくユーザーへのリーチが図れます。迅速な対応が必要とされるビジネスシーンなどで幅広くご活用ください。 *NetRatings調べ

[掲載場所]

YOMIURI ONLINEトップページ特設枠
想定850万imps / 週 常設枠ではありません

[原稿サイズ]

全角35文字以内
機種依存文字等は使用不可 原稿内に社名表記必

[掲載方法]

貼り付け(最大3枠)
読み出し毎に掲出位置更新

[掲載期間]

午前9時開始 ~ 1日単位で任意の期間

[掲載料金]

読売新聞本紙とセットの場合
¥1,000,000 / 日(税抜き)
YOMIURI ONLINE单独の場合
¥2,000,000 / 日(税抜き)

[入稿締切]

掲載開始日の前日17時まで
申し込み・入稿は平日のみ対応可(土日休日対応不可)



【謹告】弊社液晶テレビ を回収しています。 株式会社
【謹告】弊社液晶テレビ を回収しています。 株式会社
【謹告】弊社液晶テレビ を回収しています。 株式会社

3枠表示した場合の広告イメージ

注意点

- ・テキスト原稿コピーには、必ず社名を明記してください。
- ・リンク先がない場合、弊社で制作することが可能です。別途制作費がかかります。その場合、本紙掲載原稿の念校(PDF)、もしくは貴社発行のリリース等を、画像データ化して掲出します。
- ・弊社掲載基準によって、掲載できない業種・広告主があります。事前にお問い合わせください。
- ・掲載期間中の原稿およびリンク先の変更は、できません。

お問い合わせ先

広告局メディア推進部 メディア推進課

☎ 03(3216)8805 Eメール ad@yomiuri.com

リコール社告とは

リコール社告は、事故が発生したとき又は事故が発生するおそれがあるとき、事故の拡大の可能性及び事故の発生を最小限とするよう消費者に対して適切かつ迅速に知らせるための広告です。

「あくまで消費者の安全確保のために、 リコール社告は利用されるべき」

高 巖 氏 商学博士・麗澤大学大学院 国際経済研究科教授
(企業倫理研究センター長)

たか-いわお = 1956年、大分県出身。早稲田大学大学院商学研究科博士課程修了。米国ペンシルベニア大学ウォートン・スクール客員研究員などを経て、現職。日本において「企業倫理」を確立した経営学の第一人者。著書に『CSR 企業価値をどう高めるか』(日本経済新聞社)など。



リコール社告のJIS化は、 企業倫理に対する意識の高まりの現れ

日本において企業の社会的責任(CSR)というものが、認知されはじめたのは2000年前後。以来、消費者、投資家、株主、地域社会など、企業をとりまくステークホルダーに対して、今あるリスクをふまえて正しく情報を伝えるための仕組みが徐々にできあがっていきました。

実は20世紀中には、こうした企業倫理の考え方はそれほど影響力の強いものではありませんでした。しかし、近年多発した企業の不祥事などを通じ、「安全・安心」というものがいかに企業の競争力になるのかということが

分かってきたことで、企業はもちろん一般消費者の意識改革も一気に進んだといえるでしょう。

今回の消費生活用製品におけるリコール社告のJIS化は、こうした社会全体の意識の変化の中で実現したもので、消費者団体の提言をきっかけに成立に至ったという意味では、新しい動きといえそうです。リコール社告は消費者の安全を確保するための手段として、これまでも大きな役割を果たしてきましたが、中でも迅速かつ保存性の高い新聞のリコール社告は、特に有効なものとして広く社会に認知されています。しかし、一見しただけでは内容を理解しにくい曖昧さ、分かりづらさという点では以前から問題が指摘されていました。

日常の反映としての情報開示が 企業の価値を高めていく

リコール社告のJIS化における最大の特徴は、規格統一されたことで、何を伝えたいのかが一目で分かりやすくなったということ。「リコール社告」と目立つようにタイトルを配し、またサブタイトルに「回収」「交換」など、消費者が取るべき行動を明快に示すことで、従来の曖昧さが払拭されています。さらに消費者の安全を第一に考え、回収率の明記を促している点も評価したいところです。

製品がここまで高度化した今、開発者側が思ってもみない不具合が起こることはある意味で避けられないもの

といえます。ただしリコール社告を「何かあったら、出せばいいもの」と曲解してしまえば本末転倒です。リコール社告とは、あくまで消費者の安全・安心を確保するためのもの。一時的にダメージがあっても、これを継続的に製品を改善していくためのチャンスと捉え、情報を積極的に開示していくことが、長い目で見れば企業価値を高めていくのです。

企業倫理の成熟度は、企業活動の日常の反映として現れるものです。消費者の安全を第一に考えれば、リコール社告においてJIS化で求められる以上の情報を、任意で開示することがあってよいはず。また、それこそがリコール社告の本来の目的であるといえるのです。

リコール社告の記載方法

■ リコール社告の記載内容

【リコール社告の回数および回収率】

1回の社告で十分な有効性が図れなかった場合には、継続的に実施する複数回の社告が必要です。2回目以降の場合はその旨およびそれまでの回収率を付記することが望ましいです。

【製品の特定方法】

消費者が製品を特定できるよう、製品のイラスト、写真などによって製品の概要を示します。また形式番号及びロット番号の特定方法も示すこと。

【連絡先】

当該製品に関して消費者が製造業者などと連絡がとれるよう、連絡先を記載します。連絡先の記載内容としては、住所、電話番号、FAX番号、ホームページアドレスなどを複数記載すべきです。

【危険性、事故の状況及びその原因】

危険性がある場合にはその旨を明確に示し、危険性がない場合などは、なぜリコール社告を出すのかを説明します。

【タイトル】

リコール社告には、一般の社告との区別を付けるため「リコール社告」と表記し、主タイトルとして、「会社名、製品名、製品の種類」等を記載し、さらに括弧付きで副タイトルを設けます。

< 記載例 > 12cm × 2段

| | | | |
|---|---|---|---|
| <p>・販売場所と期間 全国のスーパ、家電販売店など 平成 年 月 平成 年 月に販売 ・連絡先 株式会社 お客様相談室 0120 000 000 (携帯電話でもかけられます) FAX 000 0000 0000 ・受付時間 毎日 時から 時まで ・回収対象数 一万台 ・これまでの回収率 五〇〇〇台(回収率五〇%) ・インターネット http://www.000000.co.jp 平成二十年 月 日 東京都 区 町 丁目 番地 株式会社</p> | <p>イラスト (対象商品の 図、写真、形式 番号、問題箇所 などを明示)</p> | <p>弊社液晶テレビ で発火・火災事故が発生 しています。電源盤の部品不 適合が原因です(と思われ ます)。 回収いたしますので、お客 様は直ちに電源プラグ を抜いてご使用を中止し、 左記に連絡してください。 弊社の社員証を携帯した 担当者が回収(無償点検) にお伺いします。</p> | <p>リコール社告 社製薄型テレビ(回収) 発火の恐れ 商品名・形式</p> |
|---|---|---|---|

【製品の販売数、販売時期、販売店類】

製品の販売数、販売時期及び販売先・販売方法についても明記する必要があります。

【リコールの内容】

- ・リコールの種類 / 「回収 / 商品回収」、「交換 / 無償交換 / 部品交換」、「点検・修理 / 無償点検・修理」、「代金返還」、「注意喚起」などがあります。
- ・使用の中止 / まず該当する製品かどうか確かめ、すぐに使用を中止すべきか、または中止して使用すべきかという初期対応を伝えます。
- ・消費者への依頼内容 / 回収、交換、返金などに応じるため連絡を求めるのか、自己点検及び自己修理を求めるのか、廃棄して欲しいのかなど、消費者に求める対応を明確に示します。

【副タイトル(リコールの種類)】

「回収 / 商品回収」、「交換 / 無償交換 / 部品交換」、「点検・修理 / 無償点検・修理」、「代金返還」、「注意喚起」などがあります。

■ 記載内容のチェックリスト

| チェック項目 | チェック基準 | ✓ |
|------------------------|--|---|
| 文字の大きさ | 11級(7.5pt)以上 | |
| タイトル | 会社名、製品名、製品の種類、危険性 | |
| 副タイトル(リコールの種類) | 回収/商品回収、交換/無償交換/部品交換、 点検・修理/無償点検・修理、代金返還、注意喚起など | |
| 危険性の有無 | | |
| 危険性の内容 | 記載の有無、簡潔性 | |
| 事故の状況及びその原因 | 記載の有無、簡潔性 | |
| リコールの内容 | | |
| リコールの種類 | 記載の有無、簡潔性 | |
| 使用の中止 | 記載の有無、簡潔性 | |
| 消費者への依頼内容 | 記載の有無、簡潔性 | |
| 製品の特定方法 | | |
| 名称、型番、ロット番号等 | 記載の有無 | |
| 型番等の表示箇所 | 記載の有無、わかりやすさ | |
| イラスト又は写真 | 有無、わかりやすさ | |
| 他の製品情報 | | |
| 製品の販売数 | 記載の有無 | |
| 販売時期 | 記載の有無 | |
| 販売店類 | 記載の有無 | |
| リコール社告の回数と これまでの回収率 | 記載の有無 | |
| 連絡先 | | |
| 連絡先名 | 記載の有無 | |
| 電話番号 | 記載の有無、フリーダイヤルか | |
| FAX番号 | 記載の有無 | |
| 連絡可能時間帯 | 記載の有無 | |
| ホームページ | 記載の有無 | |
| 他の照会先 | 記載の有無 | |
| 住所 | 記載の有無 | |
| 会社名 | 記載の有無 | |
| 日付 | 記載の有無 | |

読売新聞は、臨時物広告の文字サイズとして11級(7.5pt)を推奨しています。

お問い合わせ先

読売新聞社 広告局

| | | | |
|------------|-----------|-----------------|----------------------|
| 東京本社 広告局 | 〒100-8055 | 東京都千代田区大手町1-7-1 | ☎03(3216)8933(広告第六部) |
| 北海道支社 広告部 | 〒060-8656 | 札幌市中央区北4条西4-1-8 | ☎011(222)5825 |
| 北陸支社 北陸広告課 | 〒933-8543 | 高岡市下関町4-5 | ☎076(26)6863 |
| 中部支社 広告部 | 〒460-8470 | 名古屋市中区栄1-17-6 | ☎052(211)0054 |
| 大阪本社 広告局 | 〒530-8551 | 大阪市北区野崎町5-9 | ☎06(6366)1733(広告第三部) |
| 西部本社 広告局 | 〒810-8581 | 福岡市中央区赤坂1-16-5 | ☎092(715)6847(広告第一部) |

臨時物広告

【料金早見表・朝刊】 (平成20年9月1日現在)

| 掲載地域 基本料金 | 全国通し (東京、大阪、西部) | 東京単独 (北海道・北陸・中部含む) | 大阪単独 | 西部単独 |
|-----------------------|--------------------|-----------------------|------------|------------|
| 1cm×1段 | 179,300円 | 126,500円 | 58,300円 | 28,600円 |
| 1cm×2段 | 358,600円 | 253,000円 | 116,600円 | 57,200円 |
| 5cm×2段 | 1,793,000円 | 1,265,000円 | 583,000円 | 286,000円 |
| 10cm×2段 | 3,586,000円 | 2,530,000円 | 1,166,000円 | 572,000円 |
| 12cm×2段 | 4,303,200円 | 3,036,000円 | 1,399,200円 | 686,400円 |
| 15cm×2段 | 5,379,000円 | 3,795,000円 | 1,749,000円 | 858,000円 |
| 18.9cm×2段 (2段2分の1) | 6,777,540円 | 4,781,700円 | 2,203,740円 | 1,081,080円 |
| 25cm×2段 | 8,965,000円 | 6,325,000円 | 2,915,000円 | 1,430,000円 |
| 37.9cm×2段 (2段) | 13,590,940円 | 9,588,700円 | 4,419,140円 | 2,167,880円 |

【色刷り料金】 ※別途付加

| 一色料金 | 全国通し (東京、大阪、西部) | 東京単独 (北海道・北陸・中部含む) |
|------|--------------------|-----------------------|
| | 5,500,000円 | 3,549,000円 |

掲載料の算出方法

例)全国通し、12cm×2段の場合

$$179,300円 \times 12cm \times 2段 = 4,303,200円$$

$$1cm \times 1段 \text{の単価} \times \text{左右のサイズ} \times 2段 = \text{掲載料}$$

臨時物広告の申し込みは、1cm×2段からお請けいたします。

臨時物広告は、原則として朝刊第1社会面に掲載いたします。
全国通し、東京単独ともに、北海道支社・北陸支社・中部支社の掲載を含みます。
料金は税抜き料金です。